

【報告1】

令和5年度事業報告

4年近くにわたるコロナ禍において、当センターの事業推進にも大きな影響がありました。外出制限による働き方や生活様式の変化は、従来事業の延長線上に留まることの限界を示し、その中で多くの気付きもありました。この貴重な体験の中で、サービスセンター（以下「SC」という）とのコミュニケーションは、お互いがオンライン環境を整えて、在宅勤務、会議、研修、打合せなどインターネットを通して行うことが定着しました。推進事業では、長い職業生活で直面するリスク予防、回避に資する補償制度や業務効率化に資する会員管理システム、オールインワンHPなどの利用促進により安定収入源の確保に努めましたが、コロナ禍後の共同購入商品の売れ筋の変化、契約条件（値上、割引率縮小）悪化の影響は大きく、収益低下を招くことになりました。このため、事業構造の見直し（環境に左右されない事業へ）が必要な年となりました。

1. 継続事業

会員SC間の交流、研鑽の場として「業務運営研修会」「実務担当者研修会」「東西ブロック会議」「おすすめ事業セミナー」を実施、地域SC主催の「ブロック協議会」「県単位等の会議、研修会」にも可能な限り出席して情報提供に努めました。各種相談では、専門性の高い事案は、顧問弁護士、会計士の助言を得て解決を図りました。

(1) SC支援事業

① 研修会

〔業務運営研修会〕

日 時 令和5年7月11日（火）13時30分～15時30分
場 所 オンライン研修（全福センター会議室サテライト設置）
出 席 110団体132名
基調講演 これからの中小企業勤労者福利厚生サービス事業について
特別講演 インボイス制度と電子帳簿保存法について

〔実務担当者研修会（大阪会場）〕

日 時 令和5年9月8日（金）13時30分～16時
場 所 大阪産業創造館 5階「会議室A・B」（対面研修会）
出 席 39団体46名
基調講演 デジタル事業の第一歩「GICパスポートの活用」について
意見交換 会員拡大、業務の変革と効率化について

〔実務担当者研修会（東京会場）〕

日 時 令和5年9月15日（金）13時30分～16時
場 所 仏教伝道協会 BDK会議室 8階「和」の間（対面研修会）
出 席 47団体48名
基調講演 デジタル事業の第一歩「GICパスポートの活用」について

意見交換 会員拡大、業務の変革と効率化について

[おすすめ事業セミナー1、2、3]

日 時 令和5年12月12日(火) 10時30分～16時30分

場 所 オンラインセミナー(全福センター会議室サテライト設置)

セミナー1 全福ネット入院あんしん保険 新規補償(所得補償) 20団体22名

セミナー2 全福ネット慶弔共済保険(保険金請求手続き等) 23団体38名

セミナー3 全福プラスワン(新規サービス、オプションプラン) 16団体18名

[おすすめ事業セミナー4、5]

日 時 令和5年12月13日(火) 13時30分～16時

場 所 オンラインセミナー(全福センター会議室サテライト設置)

セミナー4 スマホチケット入門編(ジックZ、WEB申込み) 22団体43名

セミナー5 スマホチケット応用編(ジックZ、クーポンコード) 14団体30名

② 東西ブロック会議

[東ブロック会議]

日 時 令和5年10月12日(木) 13日(金)

場 所 東京たま未来メッセ、京王プラザホテル八王子

共 催 (公社)八王子市勤労者福祉サービスセンター

出 席 75団体115名

特別講演 あじさいメイツ・プラン2028、生成AI(chatGPT)について

意見交換 コロナ禍明けの会員拡大について

[西ブロック会議]

日 時 令和5年11月8日(木) 9日(金)

場 所 ヴィラルルーチェ中津、中津文化会館

共 催 (一財)大分県北部勤労者福祉サービスセンター

出 席 57団体102名

特別講演 あじさいメイツ・プラン2028、生成AI(chatGPT)について

意見交換 コロナ禍明けの会員拡大について

[令和6年度準備]

東ブロック会議 日 時 令和6年10月10日(木) 11日(金)

場 所 メトロポリタンホテル山形、やまぎん県民ホール

共 催 (一社)山形勤労者福祉サービスセンター

西ブロック会議 日 時 令和6年11月7日(木) 8日(金)

場 所 ザクラウンパレス新阪急高知、高知県立県民文化ホール

共 催 (公財)高知勤労者福祉サービスセンター

[令和7年度準備]

東ブロック会議 日 時 令和7年10月9日(木) 10日(金) 予定

共 催 (公財)新潟市勤労者福祉サービスセンター

西ブロック会議 日 時 令和7年11月6日(木) 7日(金) 予定

共 催 (公財)神戸いきいき勤労財団 神戸市勤労者福祉共済

③ 各種相談対応

〔会計税務相談〕 11団体、12件（オンライン相談）

旭川市、横手市、いわき市2、千葉市、東村山市、相模原市、湘南、燕西蒲、飯田、伊東市、熊本市

〔法律相談〕 2団体、2件

東京広域、高岡市

④ 調査、情報提供

〔定期調査・情報提供〕

全福センター事業案内（2023年版）発行	4月
全国会員団体概要（2023年版）発行	7月
統計資料（基本データ編、属性編）HP掲載	7月、8月
全福センターだより発行	4月・7月・10月（デジタル版）、1月（冊子）
ぷくぷくマガジン（メルマガ）発行	毎月15日

〔アンケート調査〕

適格請求書発行事業者登録	6月
--------------	----

〔勤労者総合福祉事業推進計画（中期事業計画）オブザーバー参加〕

（一財）富士市勤労者福祉サービスセンター	随時
----------------------	----

〔ソウル特別市関係者との意見交換〕

ソウル特別市（労働政策課長他）	9月
先進国の労使関係および企業並びに公務員等の福利厚生制度の調査	



⑤ SC事業の広報活動

〔国、自治体関係先への訪問活動〕

厚労省（雇用環境・均等局）情報交換	4月
高知県（濱田知事）、高知市（岡崎市長）表敬訪問	5月
山形県（高橋雇用労働課長）、山形市（佐藤市長）表敬訪問	9月
兵庫県（入江産業労働部課長）、神戸市（夙経済観光局課長）	2月

(2) ブロック協議会

① 全国コーディネーター会議

ブロック協議会運営責任者を対象に情報交換を通して連帯感と活動の活性化を図りました。

〔第一回会議〕

日時	令和5年4月18日（火）13時30分～16時
場所	全福センター会議室（対面会議）
出席	8団体8名、全福5名
議事	コーディネーター委嘱、役割、令和5年度活動方針と計画、意見交換など

〔第二回会議〕

日 時 令和5年10月25日（水）13時30分～15時
場 所 オンライン会議
出 席 8団体8名、全福5名
議 事 令和5年度上期活動報告、下期取組み、活動活性化、意見交換など

〔第三回会議〕

日 時 令和6年3月13日（水）13時30分～15時
場 所 オンライン会議
出 席 7団体7名、全福7名
議 事 令和5年度下期活動報告、令和6年度体制、引継ぎ、意見交換など

② ブロック協議会

地域SC主催の協議会では、遠隔地も参加し易いハイブリッド会議が増えました。

対面22件（25件）、オンライン1件（6件）、ハイブリッド9件（1件）

書面 1件（能登半島地震のため）

〔北海道ブロック協議会〕

第一回幹事会

日 時 令和5年7月12日（水）14時30分～17時
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 10団体10名、陪席2団体2名（北海道庁・札幌市）、全福1名
議 事 実務担当者研修会、共同化事業、新型コロナ5類移行と実施事業など

実務者研修会

日 時 令和5年11月9日（木）14時45分～17時20分
場 所 フィッシャーマンズMOO 会議室（対面会議） 釧路市
出 席 7団体7名
議 事 SNS活用、DX化、プレゼント企画、好事業などについて意見交換

第二回幹事会

日 時 令和5年11月21日（火）14時30分～17時
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 9団体10名、陪席1団体1名（札幌市）、全福1名
議 事 実務担当者研修会、共同事業、令和6年度活動方針、役員体制など

第三回幹事会

日 時 令和6年3月26日（火）14時30分～17時
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 7団体7名、陪席1団体1名（札幌市）
議 事 令和6年度活動方針・計画、役員体制など

〔東北ブロック協議会〕

第一回協議会

日 時 令和5年6月23日（金）13時30分～16時30分
場 所 仙台市戦災復興記念館 会議室（ハイブリッド会議） 仙台市

出席 11団体14名（内オンライン3団体3名）、全福1名
議事 令和5年度活動計画、共同化事業、実務担当者研修会など

実務担当者研修会

日時 令和5年10月19日（木）～20日（金）
場所 YSアリーナ八戸 大会議室（対面研修会）他 八戸市
出席 10団体14名、講師（フォーバル）1名、全福1名
議事 生成AI（chatGPT）とSCの活用の可能性について、意見交換など

第二回協議会

日時 令和6年3月15日（金）13時30分～16時30分
場所 仙台市戦災復興記念館 会議室（ハイブリッド会議） 仙台市
出席 9団体13名（内オンライン3団体3名）、全福1名
議事 令和5年度活動報告、令和6年度活動方針、活動計画、規約改正など

〔関東ブロック協議会〕

第一回代表委員会

日時 令和5年7月5日（水）14時～16時30分
場所 全福センター 会議室（ハイブリッド会議） 港区
出席 8団体10名、全福4名（内オンライン1名）
議事 令和5年度運営方針、各地区の活動計画と課題など

実務研修会企画運営委員会

日時 令和5年7月5日（水）16時30分～17時
場所 全福センター 会議室（対面会議） 港区
出席 6団体7名、全福2名
議事 研修会実施要項、開催準備スケジュールなど

第IV地区運営委員会

日時 令和5年7月19日（水）14時～17時
場所 さいたま市産業文化センター 会議室（対面会議） さいたま市
出席 10団体11名、全福1名
議事 令和5年度運営方針、活動計画、実務研修会など

第V地区運営委員会

日時 令和5年7月21日（金）13時30分～17時
場所 小山市勤労者総合福祉センター 会議室（対面会議） 小山市
出席 7団体10名、全福1名
議事 実務研修会、開催準備スケジュールなど

第III地区運営委員会

日時 令和5年7月26日（水）15時～17時
場所 相模原市立勤労者総合福祉センター 研修室（対面会議） 相模原市
出席 8団体9名、陪席1団体1名（友愛共済）、全福1名
議事 令和5年度活動計画、会員拡大等の課題意見交換など

第Ⅰ地区運営委員会

日 時 令和5年8月3日(木) 14時30分～17時
場 所 渋谷区立勤労福祉会館 第2洋室(対面会議) 渋谷区
出 席 12団体13名、全福1名
議 事 令和5年度運営方針、各センターの活動状況と課題など

実務担当者研修会企画運営委員会

日 時 令和5年9月5日(火) 14時～15時
場 所 オンライン委員会 渋谷区
出 席 6団体6名、全福2名
議 事 事前アンケート結果、講演テーマ、討議テーマ、開催日程など

第Ⅱ地区運営委員会

日 時 令和5年11月17日(金) 14時30分～16時30分
場 所 立川市女性総合センター「アイム」(対面会議) 立川市
出 席 10団体10名、全福1名
議 事 令和5年度運営方針、代表委員会報告、事前調査に基づく情報交換など

実務担当者研修会

日 時 令和6年1月24日(水) 13時30分～16時
場 所 仏教伝道協会 BDK会議室(対面研修会) 港区
出 席 31団体34名、講師1名(フォーバル)、全福2名
議 事 生成AI(chatGPT)体験研修、意見交換など

第二回代表委員会

日 時 令和6年3月15日(金) 13時30分～15時
場 所 全福センター 会議室(対面会議) 港区
出 席 9団体11名、陪席1団体1名、全福3名
議 事 令和6年度運営方針、代表委員会案及び日程案、企画委員会設置要綱案など

第Ⅲ地区運営委員会

日 時 令和6年3月22日(金) 15時～17時
場 所 相模原市立勤労者総合福祉センター 会議室(対面会議) 相模原市
出 席 8団体8名、陪席1団体1名(友愛共済)、全福1名
議 事 第二回関東ブロック代表委員会、令和6年度第Ⅲ地区正副委員長など

第Ⅴ地区運営委員会

日 時 令和6年3月28日(木) 13時30分～16時
場 所 小山市勤労者総合福祉センター 講習室(対面会議) 小山市
出 席 8団体14名、陪席1団体1名(友愛共済)、全福1名
議 事 関東ブロック協議会代表委員会報告、令和6年度事業計画など

[信越・北陸ブロック協議会]

第一回運営委員会

日 時 令和5年7月14日(金) 14時～16時
場 所 金沢勤労プラザ 研修室(対面会議) 金沢市

出席 14団体15名、全福1名
議事 会計報告案、実務担当者研修会、サービスセンターの状況など

実務担当者研修会

日時 令和5年11月17日(金) 13時～16時
場所 金沢勤労プラザ 研修室(ハイブリッド研修会) 金沢市
出席 16団体17名(内オンライン6団体6名)、講師1名(全労済協会)、
全福1名
議事 迅速かつ正確な災害見舞金給付申請、意見交換など

第二回運営委員会

日時 令和6年2月9日(金)
場所 書面(書面委員会) 金沢市
出席 22団体、全福
議事 令和6年度運営方針、スケジュール、役員体制、会計報告など

[東海ブロック協議会]

第一回運営委員会

日時 令和5年7月7日(金) 14時～16時
場所 アストプラザ 研修室(対面会議) 津市
出席 21団体22名、全福1名
議事 令和5年度活動計画、共同企画事業の取組み状況、事務担当者会議など

事務担当者研修会

日時 令和5年11月2日(木) 13時45分～16時
場所 静岡市歴史博物館 会議室(対面研修会) 静岡市
出席 22団体30名、全福1名
議事 共同事業「せっかくTOKAI」商品PR、運用手順など

第一回幹事会

日時 令和5年12月8日(金) 13時～15時
場所 一身田寺内町の館(対面会議) 津市
出席 6団体7名、全福1名
議事 令和6年度運営方針・活動計画、連携事業提案など

第二回運営委員会

日時 令和6年2月16日(金) 14時～16時
場所 アストプラザ 会議室(対面会議) 津市
出席 21団体22名、全福1名
議事 東海ブロック協議会在り方、規約改正、令和6年度運営方針・活動計画など

[近畿ブロック協議会]

第一回代表者委員会

日時 令和5年5月16日(火) 13時30分～16時
場所 京都経済センター 会議室(ハイブリッド会議) 京都市
出席 7団体10名(内オンライン1団体1名)、陪席1団体1名

議 事 令和5年度活動計画、G I Cパスポート勉強会、全体会研修会など
全体会研修会

日 時 令和5年7月20日(木) 14時～16時

場 所 京都経済センター 会議室(ハイブリッド研修会) 京都市

出 席 21団体41名(オンライン10団体20名)、全福1名

議 事 デジタル事業の第一歩「G I Cパスポート勉強会」

第二回代表者委員会

日 時 令和5年11月16日(木) 14時～16時

場 所 京都経済センター 会議室(ハイブリッド会議) 京都市

出 席 8団体11名(内オンライン1団体1名)、陪席1団体1名、全福1名

議 事 近畿ブロック活動方針、デジタル事業実施状況、意見交換など

第三回代表者委員会

日 時 令和6年3月25日(月) 予定 14時～16時予定

場 所 京都経済センター 会議室(ハイブリッド会議) 京都市

出 席 7団体11名、陪席3団体3名(内オンライン1団体1名)、全福1名

議 事 令和6年度運営方針・活動計画、役員体制、共同事業実施報告など

[中・四国ブロック協議会]

第一回運営委員会

日 時 令和5年6月15日(木) 14時～16時

場 所 岡山市勤労者福祉センター 会議室(対面会議) 岡山市

出 席 13団体15名、全福1名

議 事 令和5年度活動方針、会議実施方法、共同化事業、実務担当者研修会など

実務担当者研修会

日 時 令和5年11月16日(木) 14時～16時30分

場 所 岡山シティホテル桑田町 別館会議室(ハイブリッド研修会) 岡山市

出 席 17団体19名(内オンライン12団体12名)、全福1名

議 事 実務担当者が抱える諸課題、会員拡大など

第二回運営委員会

日 時 令和6年2月15日(木)～16日(金)

場 所 岡山市勤労者福祉センター 会議室(対面会議) 岡山市

出 席 13団体15名、全福1名

議 事 令和6年度活動方針・計画、体制、共同事業報告など

[九州・沖縄ブロック協議会]

九州沖縄地区中小企業勤労者福祉共済団体協議会「事務局長・実務担当者会議」および九州・沖縄ブロック協議会「第一回事業委員会」

日 時 令和5年11月21日(木) 13時30分～17時

場 所 熊本市国際交流会館 会議室(対面会議) 熊本市

出 席 12団体21名、全福1名

議 事 デジタル会員証、電子申請、会員拡大、令和6年度活動方針、体制など

③ 県単位、地域単位の会議、研修会

会議・研修会に出席して情報提供を行いました。

東京都市連合会総会	(5月 立川市)
長野県市町村勤労者互助会・共済会連絡協議会 記念講演	(5月 松本市)
滋賀県勤労者互助会連合会総会	(6月 甲賀市)
静岡県西部ブロック共済団体連絡会	(6月 浜松市)
静岡県東部地区実務担当者研修会	(7月 伊東市)
千葉県勤労者福祉共済会連絡会議	(7月 船橋市)
大阪府下共済センター実務者会議	(7月 堺市)
静岡県東部地区事務局長会議	(8月 富士市)
第41回全道勤労者共済会連絡協議会	(9月 岩見沢市)
滋賀県勤労者互助会事務局員研修会	(10月 大津市)
第46回指定都市中小企業福祉共済団体連絡会議	(10月 名古屋市)
静岡県連事務局長会議 (オンライン参加)	(10月 富士市)
静岡県連事務担当者会議	(10月 富士市)
静岡県中部ブロック事務局長会議	(12月 藤枝市)

2. 推進事業

共済、保険事業は、SC会員の生活を長期にわたりサポートする重要な事業と位置付け、従業員の長い職業生活において直面するリスク予防、回避、損失補填などに資する補償の拡充に努めました。令和4年10月から補償責任を引受けた「生命共済(友愛共済協同組合)」、令和5年6月から補償責任を引受けた「認知症アシスト付き年金払介護補償(東京海上日動火災保険)」は順調な滑り出しです。また、SC退会後も補償を継続できる制度を整え、新規加入時の不安解消にも努めました。令和6年度は、ライフステージ(生・老・病・死)に寄り添う補償を更に充実させるため「所得補償」をラインナップに加えます。多岐にわたる補償が整うこの機会に「全福ネット入院あんしん保険」の名称を「全福ネットの保険(医療補償、がん補償、介護補償、所得補償)」に改称して、新たなスタートを切ることとしました。

業務効率化支援事業は、SCから寄せられたDX相談において、SC保有システムの棚卸を手伝いました。この過程で、当センターが提供する会員管理システム「共福システム-connect-」および「オールインワンHPパッケージシステム」の利用提案に努めた結果、現在SCが利用する会員管理システムおよびHPから切り換える成果に繋がりました。また、今後、SCにおいても業務のデジタル化がより一層求められることを想定し、当センター主催会議、研修会の出席確認には、「スマホチケット」を必須アイテムとする受付業務の簡素化事例を示しました。「スマホチケット」によるデジタル受付体験を通して、利便性や業務効率化の理解が進み、自らの事業に活用する団体が増えることに繋がりました。

共同事業は、利用頻度の少ないサービスや収益率の低い事業を見直す一方で、新規事業、提携先の拡大(スクラップ&ビルド)に努め、収益力の回復を目指しました。

(1) 共済事業および共済を補完する事業

①「全福ネット慶弔共済保険」(全労済協会)

SC規約と保険約款との整合は131団体が終了、あと3団体となりました。

共済保険部配信「お知らせ」は119団体(85%)が受信、情報共有が進みました。

[お知らせ]

第一号～第三号	電話問合せに対する質問と回答例、請求手続きの不備について
第四号	自然災害被害時の保険金請求手続きについて
第五号	傷病休業保険金の正規有手続きについて
第六号	本人死亡、死亡診断書の読み方について

[ハイブリッド研修会]

滋賀県勤労者互助会 10月6日(大津市)

10団体13名、講師2名(オンライン)、全福1名

信越北陸ブロック協議会 11月17日(金沢市)

16団体17名(内オンライン6団体6名)、講師1名(オンライン)、全福1名

②「全福ネットあんしん労災(全福ワンコイン労災)」(友愛共済協同組合)

政府労災保険制度の不足分を補う労災上乘せ共済の存在を、SCのHPバナーや会報掲載、YouTube(グリーン・パル制作)などの広報媒体を使い周知しました。契約件数は、大口契約事業所のSC退会や廃業もあって減少に転じました。

事業所 57社、473名、1,318口

SC 31団体、148名、217口

合計 88事業所、621名、1,535口

(前年度 +1事業所、+1名、▲99口)

③「全福ネットあんしん傷害共済(全福ワンコイン傷害共済)」(友愛共済協同組合)

労災保険未加入の一人親方、個人事業主を対象に不慮の事故を保障する傷害共済の存在を、SCのHPバナーや会報掲載、YouTube(グリーン・パル制作)などの広報媒体を使い周知しました。契約件数は、労災保険に代わる補償として漸増しました。

事業所 21社、21名、41口

(前年度 +5社、+5名、+11口)

④「生命共済(全福ネットあんしん生命共済)」(友愛共済協同組合)

死亡保障を手厚くした生命共済の存在を、YouTube(グリーン・パル制作)を使い周知しました。SC独自の愛称で運用できる保険として17団体が取扱いを開始し累計23団体に広がりました。さらに、令和6年度下期開始に向けて6団体が準備を進めています。

[既開始SC] 6団体

苫小牧市、稲城市、湘南、相模原市、厚木市、伊東市

[令和5年4月開始SC] 6団体

仙台	愛称「グリーン・パル生命共済」
ひたちなか市	愛称「ひたちなかSC生命共済」
両毛地区	愛称「両毛メート生命共済」
鹿沼市	愛称「フレンドリーかぬま生命共済」

千葉市 愛称「ゆるり生命共済」
野田市 愛称「ライフアップのだ生命共済」

〔令和5年10月開始SC〕7団体

室蘭市 愛称「室蘭市勤労者共済センター生命共済」
小山市 愛称「リングジョイ生命共済」
船橋市 愛称「FCS生命共済」
富士市 愛称「ふくりこFuji生命共済」
岡崎幸田 愛称「わくワーク!岡崎幸田生命共済」
八尾市 愛称「八尾わーきんぐおん生命共済」
兵庫県 愛称「ひょうごファミリーパック生命共済」

〔令和6年4月開始SC〕4団体

横手市 愛称「ほっとわーく生命共済」
渋谷区 愛称「きんぷく生命共済」
甲賀湖南 愛称「KOKOワーク生命共済」
神戸市 愛称「ハッピーパック生命共済」

〔令和6年下期開始準備SC〕6団体

⑤「全福ネット入院あんしん保険」(東京海上日動火災保険)

当センター子会社(株)全福サポートサービス(保険代理店)では、SC退会後も補償継続を望むSC会員の声に応え、全国中小企業勤労者福祉共済会(以下「ZK」という)と連携して、ZKがSC退会者を受入れる会員制度を作り10月から運用を開始しました。既に、9名の入会があり長期にわたるサポート体制が整いました。また、令和5年6月から補償を開始した「認知症アシスト付き年金払介護補償」契約は53件、新たに上梓した令和6年6月から補償を開始する「所得補償」は既に3件の契約があり、順調な滑り出しです。ライフステージに寄り添う多岐にわたる補償が整ったこの機会に、当保険の名称を「全福ネットの保険(医療補償、がん補償、介護補償、所得補償)」に改称して新たなスタートを切ることとします。

医療補償	2,673件	(純増)	0件
がん補償	360件	(純増)	53件
一時金払介護補償	366件	(純増)	1件
年金払介護補償	53件	(新規)	53件
合計	3,452件	(純増)	107件

(2) 会員サービス事業

①「全福ネット福利厚生事業(全福プラスワン)」(リロクラブ)

地域密着型事業を補完する全国的サービス利用団体は4団体に加わり、累計9団体に広がりました。また、メニューのグレードアップ、全福プラスワン利用者登録の促進策に関心を寄せる団体が増え、複数団体と令和6年度に向けた協議を進めています。

〔既取扱いSC〕5団体

鹿沼市、葛飾区、池田市、倉敷市、中讃

〔令和5年4月開始SC〕 1団体

栃木市

愛称「ウェルワークとちぎ+」

〔令和5年7月開始SC〕 3団体

三重中勢

愛称「ジョイフル中勢ライフ」

伊勢地域

愛称「じょいわ〜くらぶ」

くれ

愛称「くれよんJOY倶楽部」

②「共同購入事業」及び「新規事業」

事業、サービスのスクラップ&ビルドに取り組みました。

〔新規〕

ダイワロイネットホテル、西武園ゆうえんち、堺伝匠館、ALSOK 健康相談、
阪急交通社（温浴剤）、名探偵コナンゼミ、マーストーケンソリューションズなど

〔撤退〕

HMI ホテルグループ、レオパレス21、電子書籍フライヤー、食べチョククーポン
機内食グルメ、ジャルパック、アップルワールド、東映太秦映画村など

（3）SC業務効率化支援業務

コロナ禍を契機に社会全体のデジタル化が加速しICT環境の整備は避けられないテーマとなりました。生成AI（chatGPT）の業務活用の可能性を見出すため、各種会議、研修会に外部講師を招き見識を深めました。SCの事業および業務の変革を支援するDX相談では、会員SC保有システムの棚卸を手伝い最適化提案を行いました。この取り組みによって、当センター提供システム、HPを採用する団体が増えました。

①「会員SCのDX支援」

SC事業、業務の変革をサポートするDX相談に積極的に関わりました。

〔DX相談〕 16団体

新宿区、目黒区、東京広域、板橋区、新発田市、松本市、塩尻筑南、名古屋市、
岡崎幸田、大津市、近江八幡、守山野洲、寝屋川市、玉野、くれ、高知

②「会員管理システム（共福システム-connect）」（ユニテック）

更新時期を向かえた8団体が-connect-に移行、累計20団体が完了しました。

新規3団体、解約1団体によって-connect-利用団体は累計54団体になりました。

〔-connect-移行サポート完了〕 8団体

さいたま市、多摩市、富士宮市、諏訪湖、中津川・恵那、八尾市、倉敷市、熊本市

〔-connect-導入サポート（オンラインサポート）〕 2団体

新規 東京広域、泉佐野市

③「オールインワンHPパッケージシステム」（グレートインフォメーション）

導入サポートによって2団体が決まり、利用団体は累計74団体になりました。

〔HP導入サポート（オンラインサポート）〕 2団体

新規 三浦半島、大津市

〔HPメンテナンスサポート〕

Googleなどが実施したアカウントのセキュリティ強化により発生した不具合（HP閲

覧が一部できなくなる現象)には、サーバーを移管して対処しました。

④「ジックHP (会員事業所支援ツール)」

会員数1,500名未満のSCを対象に簡易HP利用キャンペーンを実施、1団体の利用が決まりました。

新規 守口市門真市

⑤「スマホチケット」体験の実施

主催会議、研修会において「スマホチケット」体験を実施、スマートフォンで参加証を取得した受付体験者は以下の通りです。

〔体験企画〕

定時総会	49名 (内全福6名、G I C社3名)
実務担当者研修会 (東京)	56名 (内全福7名)
実務担当者研修会 (大阪)	46名 (内全福2名)
東ブロック会議 (八王子市)	88名 (内全福11名)
西ブロック会議 (中津市)	61名 (内全福11名)

(4) 推進事業実績表

				令和6年3月末現在	
事業内容		令和4年度	令和5年度	備考	
共済事業	全福ネット慶弔共済保険	140団体	141団体	〔新規〕1団体 三浦半島 〔解約〕なし	
	中小企業退職金制度	151団体	151団体	〔新規〕なし 〔解約〕なし	
	小規模企業共済	42団体	42団体	〔新規〕なし 〔解約〕なし	
	経営セーフティ共済	7団体	7団体	〔新規〕なし 〔解約〕なし	
	全福ネットあんしん労災 (政府労災上乘せ ワンコイン労災)	92事業所	88事業所	〔会員事業所〕57社 〔会員SC〕31団体(新規1団体 榛南地区)	
		646名 1,634口	621名 1,535口	旭川市、室蘭市、釧路市、とちぎ、北見市、苫小牧市、士別、盛岡市、いわき市、葛飾区、島田榛北、焼津市、藤枝市、榛南地区、岡崎幸田、湖北広域、東近江、草津市、島根県東部、玉野、くれ、高知、大分県北部、稲城市、更埴地域、静岡市、島根県西部、諏訪湖、甲府市、富士市、全福	
	全福ネットあんしん傷害共済 (ワンコイン傷害共済)	12事業所14名	21事業所21名	一人親方、個人事業主向け(労災に代わる補償)	
29口		41口	〔加入事業所所属SC〕14団体 北見市、仙台、いわき市、船橋市、東京広域、練馬区、品川区、目黒区、八王子市、三鷹市、川崎市、長野市、大阪市、熊本市		
生命共済 (全福ネットあんしん生命共済)	6団体	23団体	〔新規〕17団体 室蘭市、仙台、横手市、ひたちなか市、両毛地区、小山市、鹿沼市、千葉市、船橋市、野田市、渋谷区、富士市、岡崎幸田、甲賀湖南、八尾市、兵庫県、神戸市 〔解約〕なし		
共済補完事業	全福ネット入院あんしん保険	181団体	183団体	〔新規〕2団体 秋田市、中津川・恵那 〔解約〕なし	
		3,345件 (純増307件)	3,452件 (純増107件)	〔がん補償〕内数360件 〔一時金払介護補償〕内数366件 〔認知症アシスト付年金払介護補償〕内数53件	
会員サービス事業	全福ネットガイドブック(制作部数)	28,000冊	25,000冊	全国版冊子(加入促進用、SC新会員配本用)	
	全福プラスワン (リロクラブ提携)	5団体	9団体	〔新規〕4団体 栃木市、三重中勢、伊勢地域、くれ 〔解約〕なし	
	全福市場(プラットフォーム利用)	「物資斡旋事業利用」5団体 目黒区、上越市、高岡市、静岡市、岡崎幸田 「地域おこし利用」1団体 鹿沼市			
	共同購入事業	家庭常備薬	97団体	90団体	新型コロナ5類移行、ドラッグストア、ネット購入の台頭
		非常食(アルファ米)	16団体	16団体	防災商品(非常食・トイレ・シャンプー等)
新規	全国的サービス	ダイワロイネットホテル、エンゼルグランディア越後中里、西武園ゆうえんち、伊豆・三津シーパラダイス、堺伝匠館、シャトラーゼスキーパレー野辺山、ALSOK健康相談バック、名探偵コナンゼミ、マーストールソリューション(職域販売)、阪急交通社(重炭酸入浴剤)			
基本業務	会員管理システム(共福システム)	51団体	53団体	〔新規〕2団体 東京広域、泉佐野市 〔解約〕なし	
		(クラウド39団体)	(クラウド45団体)	〔CONNECT移行〕8団体 さいたま市、多摩市、富士宮市、諏訪湖、中津川・恵那、八尾市(オンプレミス)、倉敷市、熊本市(累計20団体)※武蔵野市除く	
	会員証の共同制作	6団体	13団体	〔累計〕75団体	
		17,000枚	16,900枚		
	オールインワンHPパッケージシステム	72団体	74団体	〔新規〕2団体 三浦半島、大津市 〔解約〕なし	
クラウド型ファイルサーバー	6団体	6団体	〔新規〕なし 〔解約〕なし		

3. ネットワークの拡充

(1) 会員拡大

① 一号会員（正会員）

未加入70団体（会員100名以上）に働きかけ2団体が新規会員となりました。会員動向では、（一社）山口県勤労者福祉共済会（令和5年4月2日、014所、15,244名）は、全国労働者共済生活協同組合連合会山口推進本部との協力関係（ハートピア共済）の維持が難しくなり、令和7年5月末をもって解散、西東京市勤労者福祉サービスセンター（310所、1,289名）は、財政的理由により、令和7年3月末をもって解散することが決まりました。

一方で、倉敷市勤労者福祉サービスセンターは法人格を取得し、令和5年4月から（一財）倉敷市勤労者福祉サービスセンターとして業務を開始しました。

〔令和6年4月1日入会〕

長野県 須坂市勤労者互助会 160事業所、1,360名
 大阪府 一般財団法人守口市門真市勤労者互助会 129事業所、1,045名

② 賛助会員

協業によって勤労者福祉事業の主旨に賛同する事業会社1社が新規会員となりました。

〔令和5年10月1日入会〕

株式会社マーストーケンソリューション（職域販売サービス事業など）

				令和6年3月末現在		
会員の種類	令和5年度末	令和4年度末	備 考			
一号会員	202 団体	200 団体	〔加入〕2 団体（公財）横須賀市産業振興財団 三浦半島中小企業勤労者福祉サービスセンター （公財）藤井寺市勤労者互助会 〔退会〕0 団体			
二号会員	約121 万人	約121 万人				
賛助会員	20 団体	19 団体	〔加入〕1 団体 株式会社マーストーケンソリューション 〔退会〕0 団体			
一号会員の法人形態（202 団体）					設立方式	
公益財団法人	公益社団法人	一般財団法人	一般社団法人	市直・任意団体	単独設立	広域設立
57 団体	3 団体	58 団体	10 団体	74 団体	141 団体	61 団体

(2) 関連団体との連携強化

労働関係団体等との定例会議、直接訪問等を通して連携を深めました

〔中央労福協〕

- 4月 政策制度委員会（ハイブリッド会議）、メーデー
- 5月 幹事会（ハイブリッド会議）
- 7月 事業団体・地方労福協合同会議（ハイブリッド会議）、幹事会
- 9月 幹事会
- 11月 通常総会（ハイブリッド総会）
- 12月 情報交換会（南部事務局長他）
- 1月 幹事会、政策委員会
- 2月 メーデー実行委員会
- 3月 政策委員会（オンライン委員会）

〔全労済協会〕

- 4月 定例会議
- 5月 理事会（ハイブリッド理事会）
- 8月 理事会（ハイブリッド理事会）、調査報告（オンライン研修）
- 9月 定例会議（オンライン会議）
- 12月 定例会議
- 1月 定例会議（オンライン会議）
- 2月 理事会（オンライン理事会）

〔企業福祉・共済総合研究所〕

- 5月 理事会
- 6月 定時総会
- 10月 理事会
- 3月 理事会

〔友愛共済協同組合〕

- 4月 定例会
- 6月 総会（書面決議）、定例会
- 8月 定例会
- 12月 定例会
- 1月 定例会

（3）法制化等の取組み

中央労福協と共に進める中小企業勤労者福祉事業にかかる法整備

〔政党 政策・制度要求〕

- 5月19日 立憲民主党「2023年度 政策・制度要求」
- 5月30日 公明党 「2023年度 政策・制度要求」
- 6月 1日 国民民主党「2023年度 政策・制度要求」
- 6月 7日 社会民主党「2023年度 政策・制度要求」



5月19日(金)立憲民主党
西村幹事長 他議員8名

5月30日(火)
公明党 佐藤労働局長
他議員3名

6月1日(木)
国民民主党 玉木代表
他議員9名

6月7日(水)
社民党 福島代表、
他議員数名

〔2023年度政策・制度要求（中央労福協）〕から

中小企業勤労者の福祉格差の是正

イ．中小企業勤労者の福祉格差の是正に向けて、国・自治体・事業主の役割・責務等を明確にした法整備を行う。

ロ．従業員の福利厚生に積極的な取り組みを行う事業主、非正規労働者等が福利厚生制度を利用できるよう、財政面の充実をはかる。

全福センター独自の要請

〔労働関係団体協議会 要望〕

1 1月 6日 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」

3月29日 自由民主党 労働関係団体委員長 衆議院議員 鈴木隼人秘書面談

〔要望書〕から

通達に代わる根拠法

イ. 中小企業勤労者福祉事業法（仮称）の制定

ロ. サービスセンター事業広報予算の創設

4. 管理運営

健全な組織運営のため監事監査、理事会等による内部管理の徹底（コーポレートガバナンス）と法令や規範を順守した業務執行（コンプライアンス）を行いました。

（1）監事監査、理事会、定時総会

① 監事監査

理事の職務執行および法人の業務および財産状況に関して監査を受けました。

日 時 令和5年4月25日（火）

場 所 全福センター会議室（対面監査）

出 席 監事2名

内 容 令和4年度決算、事業監査

② 理事会

双方向で意見表明が可能なオンライン環境を整えて実施しました。

〔第一回理事会〕

日 時 令和5年5月9日（火）13時30分～14時01分

場 所 オンライン理事会（全福センター会議室）

出 席 理事11名、監事2名

議 事 議案第1号 令和4年度決算及び監査報告

議案第2号 第16期役員選任案

議案第3号 令和5年度定時総会議案

報告1 令和4年度事業報告

報告2 第六次中期事業計画修正（令和5年度～9年度）

〔第二回理事会〕

日 時 令和5年6月13日（火）15時40分～15時55分

場 所 東京グランドホテル3階「菊の間」

出 席 理事12名、監事2名

議 事 議案第1号 会長、副会長、専務理事の選任

〔第三回理事会〕

日 時 令和5年10月24日（火）13時30分～14時10分

場 所 オンライン理事会（全福センター会議室）

出席 理事14名、監事2名
議事 報告1 令和5年度上期事業報告
報告2 令和5年度上期決算報告

〔第四回理事会〕

日時 令和6年3月12日（火）13時30分～14時43分
場所 オンライン理事会（全福センター会議室）
出席 理事13名、監事2名
議事 議案第1号 令和6年度事業計画案
議案第2号 令和6年度予算案
議案第3号 令和6年度定時総会開催に関する決議
議案第4号 新規加入団体の承認
報告1 令和5年度事業報告見込み
報告2 令和5年度決算見込み

③ 定時総会

基本的な感染対策をとって実施しました。なお、出席者の健康面に配慮して議決権行使書の活用を働きかけ、出席が叶わない会員にはライブ配信（情報開示）を行いました。

日時 令和5年6月13日（火）13時30分～15時25分
場所 東京グランドホテル3階「桜の間」
出席 202団体（議決権行使団体含む）
議事 議案第1号 令和4年度決算及び監査報告
議案第2号 第16期役員選任案
報告1 令和4年度事業報告
報告2 第六次中期事業計画（令和5年度～9年度）
報告3 令和5年度事業計画
報告4 令和5年度予算
報告5 新規加入団体報告

(2) コンプライアンス

SC事業に関わりの深い法令を会員SCおよび当職員にあらためて周知、徹底しました。

旅行業法、労働安全衛生法、保険法（全福だよりデジタル配信版7月号）

インボイス制度、電子帳簿保存法（令和5年7月 業務運営研修会）

税制改正への対応を整えました。

インボイス制度 令和5年10月（適格請求書発行事業者登録、会計処理など）

電子帳簿保存法 令和6年 1月（規約制定、フォルダー、ファイル管理など）

(3) 内部体制

令和5年度事業計画（次世代への承継）に基づき職員を採用、内部体制を強化しました。